



とうばん
クリーンエナジー

とうばんクリーンエナジー株式会社概要

01 会社概要

02 出資者紹介

03 事業概要

01 会社概要



会社名

とうばんクリーンエナジー株式会社

所在地

兵庫県高砂市梅井6丁目1番1号

出資金

5,000万円

設立日

2026年1月22日

02 出資者紹介



加古川市



パシフィックパワー株式会社



高砂市



“よろず相談所”
但陽信用金庫



稻美町



兵庫南農業協同組合



播磨町

02 出資者紹介



| 出資者 | 株式数 | 出資金 | 出資比率 |
|---------------|--------|-------------|------|
| 加古川市 | 420株 | 21,000,000円 | 42% |
| 高砂市 | 180株 | 9,000,000円 | 18% |
| 稲美町 | 110株 | 5,500,000円 | 11% |
| 播磨町 | 110株 | 5,500,000円 | 11% |
| パシフィックパワー株式会社 | 80株 | 4,000,000円 | 8% |
| 但陽信用金庫 | 50株 | 2,500,000円 | 5% |
| 兵庫南農業協同組合 | 50株 | 2,500,000円 | 5% |
| | 1,000株 | 50,000,000円 | 100% |

03 事業概要 -設立の背景-



外部環境

世界動向

脱炭素に向けた動きは、世界的に加速しています。COP26が終了した2021年11月時点で、154カ国・1地域が2050年等の年限を区切ったカーボンニュートラルの実現を表明しています。



(出典:資源エネルギー庁HP から抜粋)

国内動向

1. 地域脱炭素ロードマップのキーメッセージ ～地方からはじまる、次の時代への移行戦略～

地域脱炭素は、地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に貢献

- ① 一人一人が主体となって、今ある技術で取り組める
- ② 再エネなどの地域資源を最大限に活用することで実現できる
- ③ 地域の経済活性化、地域課題の解決に貢献できる

✓ 我が国は、限られた国土を賢く活用し、面積当たりの太陽光発電を世界一まで拡大してきた。他方で、再エネをめぐる現下の情勢は、課題が山積（コスト・適地確保・環境共生など）。国を挙げてこの課題を乗り越え、地域の豊富な再エネポテンシャルを有効利用していく

✓ 一方、環境省の試算によると、約9割の市町村で、エネルギー代金の域内外収支は、域外支出が上回っている
(2015年度)

✓ 豊富な再エネポテンシャルを有効活用することで、地域内で経済を循環させることが重要



(出典:環境省HP)

03 事業概要 －設立の背景－



2市2町の取組

2市2町はこれまで、以下の通り検討を進めてきました。

- 令和6年12月2日
東播臨海広域ごみ処理連絡会議にて事業の方向性を確認
- 令和7年1月31日
東播臨海広域行政協議会審議会にて事業の方向性の決定
- 令和7年2月20日
東播臨海広域クリーンセンター発電電力の地産地消事業に関する基本協定書の締結
- 令和7年5月7日
東播臨海広域市町圏における電力地産地消事業パートナー候補者選定に係る公募型プロポーザル実施要領公表
- 令和7年10月28日
パシフィックパワー株式会社をパートナー候補者として選定
- 令和7年11月27日
2市2町とパシフィックパワー株式会社が、(仮称) とうばんクリーンエナジー株式会社の共同設立に関する覚書を締結

03 事業概要 -経営理念-

経営理念

基本理念

自治体が率先して地域の脱炭素に取り組むこと

目的

地域にあるCO2フリーエネルギーを有効活用し、
2050年電気利用によるCO2排出量ゼロを目指す

- ・ 地域内のエネルギー消費財を地域内に循環させる
- ・ 地域の人材を地域で活用する



地域循環経済を構築

地域新電力会社が得た利益を地域の課題解決のための地域裨益に活用

03 事業概要 －事業目的－



事業目的

本事業は、エコクリーンピアはりまの余剰電力を2市2町の公共施設で地産地消利用するために地域新電力会社「とうばんクリーンエナジー株式会社」（以下「新会社」という。）を設立し、安定的かつ効率的に各公共施設に電力供給し、地域内公共施設の二酸化炭素排出量の削減を図るとともにエネルギー消費財を地域内循環させることを目的としている。

03 事業概要 -電力小売事業-



販売方針・供給計画

事業開始から地域
新電力会社の経営
が安定化するまで

- 負荷率28%未満の高圧及び特別高圧施設
- 2市2町の庁舎
- 2市2町の広域行政施設

等

2030年度から

- 高圧及び特別高圧供給の全公共施設

| 年度 (事業開始) | 2026年度 (1年目) | 2027年度 (2年目) | 2028年度 (3年目) | 2029年度 (4年目) | 2030年度 (5年目) | 2031年度 (6年目) | 2032年度 (7年目) |
|--------------|-------------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------------------------|-----------------|-----------------|
| 契約容量:kW | 19,440 | 19,440 | 19,440 | 19,440 | 25,448 | 25,448 | 25,448 |
| 供給電力量:MWh | 13,680 | 27,360 | 27,360 | 27,360 | 55,518 | 55,518 | 55,518 |
| 供給施設数 | 161施設 (加古川市84、高砂市45、稲美町13、播磨町19) | | | | 200施設 (加古川市102、高砂市54、稲美町18、播磨町26) | | |
| 供給対象 | 負荷率28%未満の施設、庁舎など | | | | 全施設(高圧及び特別高圧) | | |

03 事業概要 -電力小売事業-



電源方針・調達計画

地域内の電源として、エコクリーンピアはりまの余剰電力を調達し、エネルギーの地産地消に取り組みます。



(出典:播磨町HP から抜粋)

- 供給計画に合わせ、段階的な調達を行い、不足分は、日本卸電力取引所からの調達を予定
- 将来的なごみ量の減少を考慮し、エコクリーンピアはりまのバイオマス(FIT)電源や、相対電源の調達も想定

03 事業概要 -CO₂削減計画-



2030年度における新会社の二酸化炭素排出係数

| | 加古川市 | 高砂市 | 稻美町 | 播磨町 | 合計 |
|---|---------------------------|-----------|----------|----------|-----------|
| 年間電力供給量(MWh) | 30,103MWh | 18,295MWh | 3,394MWh | 3,726MWh | 55,518MWh |
| エコクリーンピアはりまからの環境価値調達量 ※非FIT電力調達量全体を 2市2町の需要配分率で算定 | 8,833MWh | 5,368MWh | 996MWh | 1,093MWh | 16,290MWh |
| 非化石証書調達分 | 21,270MWh | 12,927MWh | 2,398MWh | 2,633MWh | 39,228MWh |
| 二酸化炭素排出係数 (t - CO ₂ /kWh) | 0t - CO ₂ /kWh | | | | |